



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

# ま つ ぎ ぎ

2014  
(平成26年)

5

No.600

第30回中川三聖まつり



4月6日

第30回中川三聖まつり





地域の安全を守る

# 松崎町消防団 入 団 式

## 新副団長に後藤育正氏

土屋前副団長の退任に伴い、新たに後藤氏が副団長に就任しました。

## 新年度の体制整う

平成26年度松崎町消防団入団式が4月1日午後7時30分から環境センター文化ホールで挙行されました。

式では新役員や新、再入団員総勢79人の代表者に対し、山本団長から辞令書が手渡されました。

また、新入団員を代表して第3分団第3小隊の細田競太団員が「命令や規則を守り、良心に従って、忠実に消防の義務を遂行することを誓います。」と力強く宣誓しました。山本団長は「安全で住みよい町づくり、そしてあらゆる災害から町民の生命、身体、および財産を守るといふ消防使命の遂行にあたり、町民の負託に応える消防団づくりに精進しよう。」と訓示し、防災体制の充実を呼びかけました。

## 平成26年度 松崎町消防団役員名簿



宣誓する細田競太新入団員

## <日本消防協会長表彰>

永年の消防活動における功績を認められ、消防団長の山本謹吾氏が功績章を受章しました。



功績章を受章する山本団長

本部	団 長	山本 謹吾	副団長	稲葉 豊一 後藤 育正	本部長	山田 亘	人員	12
----	-----	-------	-----	----------------	-----	------	----	----

分団	分団長	小隊	副分団長	管 轄 区 域	人 員	
					小隊	分団
1分団	馬場 篤 (宮内)	1	山崎 聖仁	東・西・南・北・中	28	59
		2	石田 和也	宮内・伏倉	15	
		3	高見 武彦	道部	15	
2分団	齋藤 克敏 (江奈1)	1	石田 智也	江奈1・2・3・4	20	34
		2	平野 豊彦	櫻田	13	
3分団	伊東 直記 (峰輪)	1	山田 正	吉田・南郷・建久寺・那賀	13	35
		2	石田 和也	船田・門野	10	
		3	細田 洋治	峰輪	11	
4分団	山本 衛 (明伏)	1	山崎 一弥	大澤・明伏・小杉原	15	27
		2	新田 雅彦	池代	11	
5分団	山本 達雄 (峰)	1	稲葉 清彦	山口・指川・金沢	16	51
		2	佐藤 岩夫	野田・中村・松尾	11	
		3	山本雄一郎	峰	11	
		4	石川 光明	八木山	12	
6分団	大石 孝広 (石部)	1	斎藤 治之	岩地	13	40
		2	高橋 努	石部	13	
		3	高橋 恒彦	雲見	13	
合 計					246	

【問合せ】 総務課消防防災係 電話 42-3963 (直通)

# 地域防災計画の策定

地域防災計画は、町民の生命、財産を災害から保護することを目的として、平常時における災害の予防対策、災害発生時の応急対策、災害発生後の復旧・復興等に関することについて、町、防災関係機関、町民のそれぞれが果たすべき役割、責務を定めた計画です。

町では、災害対策基本法第42条に基づき、松崎町防災会議において、松崎町地域防災計画を作成し、毎年度検討を加え、必要に応じて修正をしています。

平成22年度の修正以降、平成23年3月の東日本大震災をはじめ、各地で発生する集中豪雨等の局地的災害への対応が難しくなってきたことから、静岡県地域防災計画との整合性を図るとともに、静岡県第4次地震被害想定を踏まえ、全面的な改訂とし、3月18日開催の防災会議において承認されました。

今回の地域防災計画は、地

震・津波・風水害・大火災・大規模事故の各災害への対策をまとめた各巻と、それらの災害・事故に共通する対策をまとめた共通対策の巻で構成されています。

## 【主な改訂内容】

- 駿河トラフ・南海トラフ沿いにおける2つのレベルの地震・津波の想定を考慮
- 平成25年8月30日から運用の開始された「特別警報」の反映
- 自主防災組織の育成・強化等による地域防災力の向上
- 避難所生活の運営における女性の参画推進
- 災害の規模、避難の長期化等を考慮した広域的な避難対応
- 災害時要援護者に対する迅速で的確な避難支援体制の整備
- 観光客等の滞在者にも考慮した情報伝達や避難誘導体制の整備

## 【問合せ】

総務課（42） 3963

# 消防ポンプ積載車引渡式

松崎町消防団第2分団第2小隊（桜田）と第6分団第1小隊（岩地）、第6分団第2小隊（石部）の消防ポンプ積載車が更新され、3月16日に引渡式が行われました。

引渡式では、町長から団長へ鍵の引き渡しが行われ、町長は「消防ポンプ積載車として機動力を発揮し、関係自主防と有効的に活用してほしい。」とあいさつを述べました。



第2分団第2小隊（桜田）

各小隊の旧消防車両は、平成5年から20年以上使用されてきましたが、老朽化が進んだため、今回更新されました。

引渡式終了後には、ポンプの取扱いの説明を受け、操作の確認を行いました。



第6分団第1小隊（岩地）



第6分団第2小隊（石部）

平成26年度から住民税の均等割が増税となります

「東日本大震災からの復興に關し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」の施行により、平成26年度から平成35年度までの10年間、個人の町民税と県民税（合わせて「住民税」という。）の均等割の税率にそれぞれ500円が加算され、合計1,000円の増税となります。この増額分は、防災拠点や防災設備の整備等の防災・減災事業を実施するための財源に充てられます。

町民の皆様には新たな負担となりますが、皆様の生命と財産を守るために使わせていただきますので、増税についてご理解とご協力をお願いします。

※詳細については、静岡県や松崎町のホームページをご覧ください。

## 【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

# 後期高齢者医療の 保険料改定について

## ○平成26・27年度後期高齢者医療保険料率の改定

後期高齢者医療の保険料率は、均等割と所得割によって算定されます。

この保険料率は、医療費や現役世代との人数のバランス等を考慮し、2年に1度改定されます。

平成26・27年度の保険料率は、次のとおり改定されます。

	平成24・25年度	平成26・27年度
均等割額	37,900円	38,500円 (600円上昇)
所得割額	7.39%	7.57% (0.18%上昇)
賦課限度額	55万円	57万円 (2万円上昇)

## ○保険料の軽減措置

後期高齢者医療制度では、低所得者への保険料の軽減措置があり、世帯の所得水準に合わせて次のとおり軽減されます。

## ○均等割額

世帯主および全ての被保険者の総所得金額等の合計	軽減の割合
【33万円(基礎控除額)+45万円×被保険者数】以下の世帯	2割
【33万円+24.5万円×被保険者数】以下の世帯	5割
【33万円】以下の世帯	8.5割
【33万円】以下で、被保険者全員が年金収入80万円以下の世帯(その他各種所得がない場合)	9割

## ○所得割額

(被保険者本人の所得-33万円)の額	軽減の割合
58万円以下	5割

所得割額の軽減については平成26年度も継続され、前年の基礎控除後の総所得金額等が58万円以下(年金収入のみの場合は、153万円以上211万円以下)の場合、所得割保険料が5割軽減されます。

※ただし、年度途中で被保険者となった65歳の方は、年金収入額が103万円からおおむね171万円以下となります。

なお、平成26年度も、社会保障等の被用者保険(いわゆるサラリーマンの健康保険)の被扶養者だった方は、均等割保険料が9割軽減され、所得割保険料はかかりません。

平成26年4月より低所得者層の負担軽減を図るため、軽減対象が拡大され軽減判定所得基準額が引き上げられました。これにより、均等割保険料の軽減(5割)を受けられる方が大幅に増加する等、保険料の改定に伴い軽減措置も見直されました。

## ○収入別の年間保険料額の例

年金収入額(年額)	平成24・25年度	平成26・27年度
基礎年金受給者(80万円)	3,700円	3,800円
月額15万円程度の年金受給者(180万円)	40,200円	29,400円
平均的な厚生年金受給者(201万円)	48,000円	48,900円
現役並み所得者(383万円)	198,000円	202,500円

※単身世帯で収入が年金のみの場合

新保険料率で計算される年間保険料額の決定通知書は、普通徴収(納付書での窓口払い、または口座振替)の場合は8月以降、特別徴収(年金からの天引き)の場合は9月に降に随時送付されます。

新たに後期高齢者医療制度に加入してから6カ月間は、納付方法が普通徴収となります。

口座振替の手続きをしていない場合は、送られてくる納付書を持って、お近くの金融機関(郵便局は除く)、または役場で忘れずに納付してください。(※国保税が口座振替となっていた方で、引き続き口座振替を希望する方は、後期高齢者医療制度加入後、新たに手続きが必要となりますのでご注意ください。)

また、制度加入後6カ月が経過すると、年金額が年間18万円以上の方で、後期高齢者医療保険料と介護保険料の合計額が年金額の1/2を超えない場合、保険料の支払い方法が特別徴収に変更となります。

なお、年金からの天引きから口座振替への変更を希望する場合は、健康福祉課にて申請してください。



## 【問合せ】

健康福祉課 (42)3966



おかげさまで

# 広報まつぎき 600号

昭和31年10月の創刊から57年7カ月、町民の皆様と共に歩んできた「広報まつぎき」は、今月で600号という節目を迎えました。今月号は、創刊600号を記念して、節目ごとの広報誌と主な記事を紹介します。

【問合せ】企画観光課（42）3964

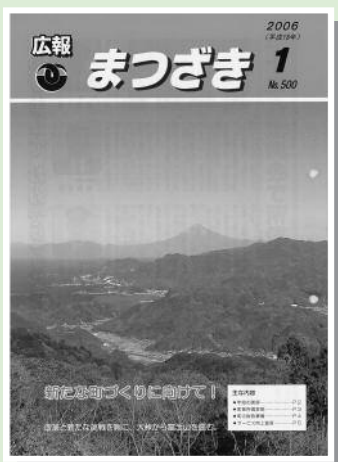
100号  
(昭和47年8月)

静岡県知事との行政視察懇談会や子ども交通安全会議の結成がありました。



200号 (昭和56年1月)

松崎小学校の建設が始まり、岩科小学校・中川小学校に夜間照明施設が完成しました。



500号 (平成18年1月)

津波表示看板の設置や市町村対抗駅伝での活躍がありました。



400号 (平成9年9月)

津波警報の自動放送システムが起動しました。



1号 (昭和31年10月)

昭和31年は、「昭和の大合併」と呼ばれる全国で市町村合併が相次いだ時期であり、前年の中川村に引き続き、岩科村との合併により、人口13,544人の松崎町が誕生しました。



300号 (平成元年5月)

消防団員355人の新体制スタートや地域活性化を図る七大イベントがありました。

# 自主運行バスをご存じですか

「自主運行バス」という言葉をご存じでしょうか。自主運行バスは、交通の空白地域をつくらないよう赤字等で撤退する路線を町が自主的に運行するバスのことです。町では、マイカーを持たない高齢者や学生等の皆様の日常生活の足を確保することを目的として、町内唯一の地域公共交通機関である榑西伊豆東海バスに運行を委託しています。

現在、町内を走る自主運行バスは、「松崎～八木山線」「松崎～池代線」「松崎～雲見入谷線」「松崎～小杉原線」の四つの路線で、バスに「松崎町自主運行バス」と表示されています。

路線バスの利用者は、マイカーの普及等により全国的にも減少し、路線の廃止や減便等の原因の一つとなり、路線バスを必要としている方に大きな影響を与えています。町としても、地域公共交通会議を設置し、町やバス事業者だけでなく、地域の関係

者も一体となって路線バスの維持確保に努めていますので、多くの皆様のご利用をお願いします。

【問合せ】  
企画観光課 (42)3964



自主運行バスの行先表示

## 平成25年度自主運行バス運行委託費・1便当たりの利用者数

	松崎～八木山線	松崎～池代線	松崎～雲見入谷線	松崎～小杉原線
運行本数	全日：7.5往復 通学：1往復	全日：5往復	全日：11往復 通学：1往復	通学：1往復
運行委託費	6,078千円	5,961千円	13,754千円	612千円
H25乗降調査 平均利用者数/便	4.9人	4.9人	3.7人	8.2人

## イベント・催し紹介

### 高通り山はいきんぐつつじまつり

【日時】5月11日(日)

午前10時から

【場所】高通り山(雲見)

【内容】山頂付近の山ツツジの見頃に合わせて、イベント会場にてところてんやオリーブ茶等の無料サービスが行われます。

【問合せ】

雲見観光協会 (45)0844

### 岩地温泉大漁まつり

【日時】5月18日(日)

午前10時から

【場所】岩地海岸

【内容】カツオを使った岩地区の郷土料理であるニアイナマスや刺身、潮汁等が無料で振る舞われます。

【問合せ】

松崎町観光協会 (42)0745

道の端の枝垂れ柳や風光る  
ジーパンの似合うと言われ花菜路  
千年の銀杏百態風光る  
宮橋の赤き欄干風光る  
サッカー場ボール蹴る足風光る  
風光る空純白にこぶしかな  
土手走る若者の列風光る  
夕暮れや肩寄せあいつ葱坊主  
ランドセル馳ける未来に風光る  
初恋の遠くにありし卒業期  
若布煮る潮の香も共々に  
自転車の少女の素顔風光る  
就取の背広のボタン風光る  
停泊のヨット並列風光る  
そよ吹けば早や舞ひ初むるさくら花

齋藤みつ子  
松田美智子  
鈴木すみ江  
吉岡うた子  
清水高子  
夏目和子  
土屋規矩子  
依田ふじ枝  
稲葉菊恵  
佐伯重雄  
石田宏  
山本一詞  
細矢金治  
佐藤享  
小林一男

# 松崎文芸

俳句



# ～まちのできごと～

3/20～24

## 第1回 写真で伝える「私の好きな松崎」展



環境センター文化ホールでは、松崎町まちづくりやろうじゃ協議会による写真展が開催されました。「風景」「自然」「文化」等のテーマ別に319点の写真が展示されました。

4/5～6

## 第15回 伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ



天候にも恵まれた今回のツーデーマーチは、町内外から2日間で延べ509人の方が参加し、なまこ壁のある町並みや満開の桜の下を歩き、春の松崎町を満喫しました。

3/27

## 「日本で最も美しい村」づくり講演会



環境センター文化ホールでは、京都府立大学大学院教授・宗田好史さんを講師に「美しい村が観光を変える」と題し、講演会が開催されました。

4/8

## 地域おこし協力隊委嘱状授与式



役場応接室では、4月から地域おこし協力隊として地域の活性化のために活動する有馬稔さん(写真左)と野口智弘さん(写真中央)に委嘱状が交付されました。

## 地域の誇りをイベントに

4月6日、今年度最初の七大イベントである「中川三聖まつり」が開催されました。

那賀川、岩科川沿いの桜や田んぼをつかった花畑が春を謳歌している中で、同日に開催されたツーデーマーチのコースにもなっていたこともあり、多くの来場者で賑わいました。

また、今年度は、地元の幼稚園児や小学生に参加していたとき、イベントに花を添えていただきました。

特に、小学生の皆様には、旧中川小学校の校歌や三聖を讃える歌により、他地域から訪れたお客様に中川地区に受け継がれている文化や伝統を披露していただきました。

さらに、4月27日に開催された岩科重文まつりでは、「岩科起て」の精神がしっかりと受け継がれたイベントを開催していただきました。

## 町長室からこんにちは ⑤3

私は、それぞれの地域の皆様が、自らの地域に誇りを持ち、それぞれの地域で育まれた伝統や文化を取り入れたイベントを開催したいと考えています。

こうした私の考えを広報まつぎき2月号の「町長室からこんにちは」に掲載させていただいたところ、文化協会から、各地域に伝わる郷土芸能を一堂に会し、披露し合うイベントを開催したいと要望がありました。

町といたしましても、他地域に真似できない素晴らしいイベントになると考え、積極的に協力させていただきます。と考えています。

今後、各地域の伝統を継承されている団体の皆様には、出演のご依頼をさせていただきますことになりませんが、イベントの趣旨をご理解していただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

松崎町長  
齋藤 文彦

町の人口と世帯

(平成26年3月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,387人	(-47人)
男	3,507人	(-18人)
女	3,880人	(-29人)
世帯数	3,053戸	(-17戸)
転入	23人	転出 52人
出生	2人	死亡 20人

町の交通事故

平成26年3月発生分

( )内は前年同月比

人身事故	0件	(-1)
物損事故	16件	(+11)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-1)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
南区	鈴木 すん	96	賢 直
松尾	中村 節子	88	直
江奈2	高木 千里	75	久 直
八木山	田口 かるえ	92	勤 一
江奈2	藤井 市雄	90	高柳幸雄
雲見	渡邊 徳一	86	彦坂すみ子
伏倉	菜野 竹井	83	倫 克
建久寺	松本 文尚	82	文 貴
江奈2	石田はま代	55	隆
峰	山本右多夫	86	眞 一郎
江奈2	平野ふじゑ	86	博 巳
伏倉	鶴田勝弘	82	元 子
建久寺	田嶋 まさ	98	板垣 稔
江奈3	大石友加里	26	竹 文
雲見	鈴木 仁	81	基

(3月届出分)  
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
雲見	芽 生	女	菊池 徹
江奈2	凌 久	男	高橋 博紀

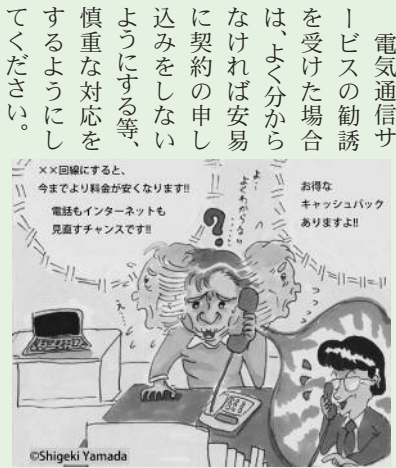
※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

ストップ!悪質商法被害

あなたも賢い消費者に!

「電気通信サービスの勧誘には  
十分な注意を!」

近年、自宅に「インターネットや電話の利用料金が安くなる契約のご案内です」、「今ならキャッシュバックキャンペーン中です」などと、インターネットや電話等の電気通信サービスにつき、勧誘の電話がかかってくる事が多くあります。電気通信サービスの発達は目覚ましく、またその仕組みや契約形態も複雑化・多様化の一途をたどり、勧誘を受けているサービスが必要なのか、本当に得なのかといったことは分かりづらいのが現状です。悪質な勧誘事業者はしつこく勧誘電話をしてきたり、過大なセールストークを行って消費者を早期に申し込みをさせようとしています。このような電気通信サービスは、現在、クーリング・オフ等の対象とはなっていない等、消費者保護は十分ではありません。



【問合せ】企画観光課(42) 3964  
(文と絵) 司法書士 山田 茂樹

姉妹都市通信

帯広市から

ばんえい競馬の競走馬で  
あり続けるために

ばん馬(農用馬)がばんえい競馬の競走馬になるには、帯広市が行う「能力検査」に合格する必要があります。

能力検査は、実際にレースを行う走路で、重さ約500kgの鉄ソリを引いて200m先のゴールまで制限時間内にたどり着けるかで判定します。

4月6日の第1回能力検査では142頭が受験し、87頭が合格しました。

平成24年の農用馬生産頭数は全国で1,436頭、うち約6割が帯広市を含む北海道の東部で生産されていますが、近年、生産頭数の減少が深刻化しています。ばんえい競馬の馬券売り上げ低迷に伴う賞金の減額で、馬主の競走馬購買力低下や、食肉用の安価な輸入馬の増大により、市場価格が下がり、生産育成の採算が取れないことが主な要因です。

その中でも、赤字覚悟で農用馬の生産を続けている生産者の皆様の、お産で取り上げた馬を、競走馬として活躍させたいという強い思いに、ばんえい競馬は支えられているのです。

ばんえい競馬は帯広を代表する観光資源であり、農用馬が生きていく唯一の場でもあります。能力検査は残り9回実施予定です。

大きくて優しく、そしてか弱い彼らが競走馬として輝き続けるために、ぜひ、ばんえい競馬を応援してください。



能力検査の様子

